

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習指導ⅠA	演習	1	林 幹士・園田 雪恵・田中 麻紀子
<b>【授業のテーマ及び到達目標】</b> 保育実習ⅠAに参加するために必要な事項を学ぶ。 保育実習ⅠAの意義、目的、内容を理解する。また、実習記録・指導案の書き方を修得する。実習に必要な心構えを身につける。			
<b>【授業の概要】</b> 保育実習ⅠAが円滑に実施できるよう、理論と実践の両方の側面から準備を行う。各自の課題を確認しながら、講義と演習を通して、保育力の向上をめざす。実習記録の記入方法や指導案作成方法について学習する。また、作成した指導案をもとに模擬保育を実施する。授業内容に応じて、外部講師による指導を取り入れる。			
<b>【全体の授業計画・内容】</b>			
1. 保育実習の意義、目的、内容			
2. 実習生のマナーと心得			
3. 実習記録の書き方			
4. 指導案の書き方			
5. ケースワーク(0・1・2 歳児)			
6. ケースワーク(3・4・5 歳児)			
7. 指導案作成・模擬保育 (0・1・2 歳児)			
8. 指導案作成・模擬保育 (3 歳児)			
9. 指導案作成・模擬保育 (4 歳児)			
10. 指導案作成・模擬保育 (5 歳児)			
11. 乳児とのかかわり (外部講師)			
12. 清掃研修 (外部講師)			
13. 事前打ち合わせについて、必要書類についての説明			
14. 実習事前指導(実習生としての心構え)			
15. 実習における課題の確認			
<b>【準備学習の内容】</b>			
予習のあり方: 自分で工夫しながら、実習記録や指導案を立ててみること。			
学習のあり方: 指導案を立てて、模擬保育を実践すること。			
復習のあり方: 実習を通して自分の課題を確認し、不足部分を次の実習までに克服できるように、練習や勉強を重ねていく。			
<b>【成績評価】</b> 提出物 (100%) により評価する。			
<b>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</b> 提出物や保育実習ⅠAの成績評価をもとに個別面談を実施し、つぎの実習での課題を明確化する。			
<b>【テキスト】</b> 久富 陽子他『幼稚園・保育所実習 指導計画の考え方・立て方』萌文書林			
<b>【参考文献】</b> 適宜お知らせする。			